



ビーフン・フォーの輸入量※1が過去最高※2を更新！ 大台の10,000トンを再び超える ～シェアNO.1 ※3のケンミン食品も過去最高の輸入量に～

通関統計によると、2024年1月～12月のビーフンに代表されるコメを主原料にしためん類の輸入量は11,250tとなり、2023年の9,725tと比較し115.7%に伸ばしました。また過去最高輸入量だった2022年の10,159tを越え、過去最高を更新しました。内訳をみると、1位のタイが6,312t（前年5,598t/対前年比112.8%）、2位のベトナムが4,464t（同3,626t/同123.1%）となりました。

業界シェア1位※3のケンミン食品(兵庫県神戸市・代表取締役社長：高村祐輝)の輸入量は、5,120t（同4,574t/同111.9%）となり、過去最高※2の輸入量となりました。

※1「ビーフン、フォーの輸入」は、以下の統計品目番号をとりまとめたもの【1902.19-010 ビーフン（加熱による調理をし、詰め物をし又はその他の調製をしたものを除く）】

※2「過去最高」とは、比較可能な1988年以降のデータを基礎として比較したものの。

※3通関統計ビーフン類2024年1～12月シェア45.5%

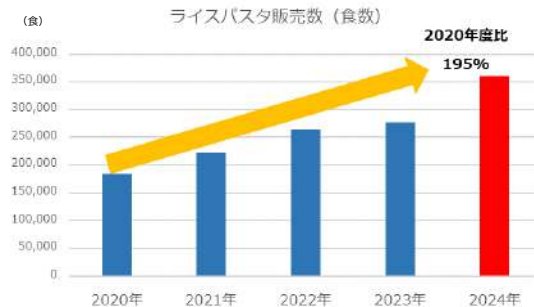
1 ビーフン・フォー市場(輸入量)伸長の背景

○輸入量が増えた要因は、健康志向・簡便志向の浸透により、野菜とともに食べる事が多く、簡単に調理できる「ケンミン焼ビーフン」に代表されるビーフン料理が多くの方の食卓に普及できたことが挙げられます。また、昨今の食品値上げにより節約志向が高まる中、比較的購入しやすい価格のビーフン類への関心が高まったと考えられます。

○また、ベトナムからの輸入が増加している要因としては、日本国内の在留外国人数としてベトナムが中国に次ぐ第2位であり、年々その人数が増加傾向※4にあるため、フォーの輸入が増えていると考えられます。

※4出典：出入国在留管理庁 令和6年3月22日発表 令和5年末現在における在留外国人数について

ビーフン・フォー輸入通関統計					単位:トン
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
合計	8,464	8,418	10,160	9,725	11,251
タイ	5,117	4,891	5,907	5,598	6,312
ベトナム	3,028	3,157	3,837	3,626	4,464
その他	319	370	416	501	475



2 ケンミン食品の状況

○ケンミン食品では、基幹商品の「ケンミン焼ビーフン」が対前年102%と伸長し、過去5年で158%となりました。また、小麦価格の影響や健康意識の高まりからグルテンフリーへの関心が増え、当社のグルテンフリーを代表する商品である「ライスパスタ」は、対前年比111%、過去5年間で195%伸長し、過去最高売上となりました。2025年も喫食機会の増加が見込まれ、市場拡大が続くと考えます。

ケンミン食品とは

1950年神戸創業のビーフンメーカー。国内ビーフン市場の約50%のシェアで日本一。創業者高村健民に因み、健康（健）を皆さま（民）に提供するという理念を持つ。ビーフンの他にも、フォー、ライスパスタ、ライスペーパーなど米を原料とした加工食品を製造する専門企業である。近年、欧米ではグルテンフリーがトレンドとなっており、2022年にはお米のめんで作ったグルテンフリーで本格的な中華麺を開発し、グルテンフリーラーメンや焼そばを販売している。2018年地域未来牽引企業、2020年ひょうごオンリーワン企業に認定。明治安田J1リーグヴィッセル神戸のオフィシャルパートナー。
<https://www.kenmin.co.jp/>

■ 本件に関するお問合せ窓口 ■

ケンミン食品株式会社 広報室 担当：田中(070-2273-8559) TEL：078-366-2054

e-mail：kenminpr@kenmin.co.jp 〒650-0024 兵庫県神戸市中央区海岸通5丁目1番1号

